

課題テーマ「富山県美術館の椅子の展示を考える」

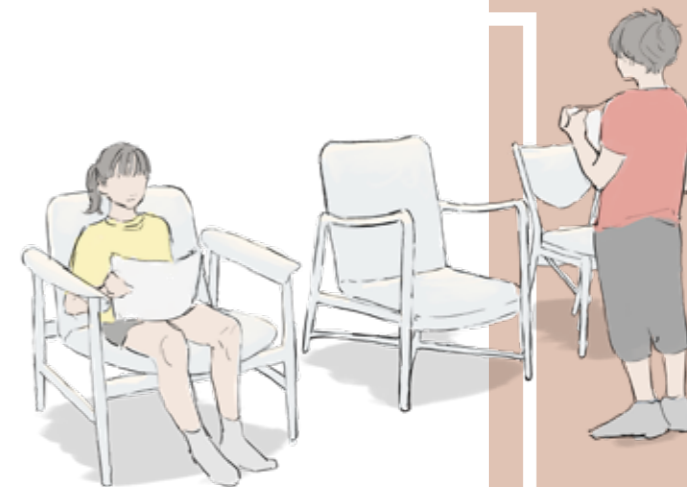
わたしのイス



富山県美術館では小学生以下の美術館誘致を図る取り組みが活発である、「自分だったらどんな椅子が欲しいか?」という視点を持つことで、子供が椅子というものに改めて積極的に向き合う展示を提案する。「わたしのイス」はバイヤーが目星をつけるように、子供もマイベスト・チェアを選び持ち帰ることができる展示である。

01 椅子を選ぶ

眺めたり実際に座ったりして「自分だったらどれが欲しいか?」を考えながら展示を周る。椅子は円形に陳列させることで展示のなかで優劣を無意識に汲み取らないようにする工夫がある。



02 椅子を受け取る

展示鑑賞後、選んだマイベスト・チェアの1/12スケールのミニチュア椅子を受け取る。椅子と一緒に、展示では説明のなかった椅子についての解説が同封されている。



03 椅子を持ち帰る

持ち帰ったミニチュア椅子は飾るのも眺めるのもあとは自由。数ある名作椅子の中から一つ、自分が好きな椅子を選んで持ち帰ることで椅子に対する興味を掻き立てるきっかけにもなる。

